



こむぎ通信

賛助会会報
第39号

編集・発行：麦っ子畠保育園賛助会 発行年月：2021年2月

〒252-0015 神奈川県座間市南栗原 1-4-3 Tel 046-255-7087

HP: <http://www/mugikkobatake/org/> Fax 046-244-0023

賛助会お振込先：郵便口座 00230-3-512894 麦っ子畠保育園賛助会

一口 1,000 円以上何口でも可（振込用紙にコメントが書けます）

～*～

…汗をかいて走る…

麦っ子では毎年冬の一番寒い季節にマラソンをしています。以前は上半身裸で走っていましたので、麦っ子の裸マラソンはかなり有名で、この辺りの冬の風物詩になっていました。ここ最近はいろいろ考慮して、半袖かランニングシャツで走っています。毎朝の目久尻川沿いのマラソンが始まると、ご近所のおじいちゃんやおばあちゃんがお孫さんを連れて応援に出てくださったり、お二階のベランダから手を振って「頑張ってね～」と声をかけていただいたり～。皆さんそれが楽しみにしてくださっていましたが、今年はコロナ禍の影響で、去年までとはちょっと違う内容になっています。日常の保育の延長でお散歩に出かけた場所（水源さんの上の広場）で、ぐるぐるマラソンをしよう～ということになって、コースを工夫して走っています。一周500メートルなのでかなり広くて目安も分かりにくいので、半周コースを作って3か所にシートを敷いて水筒や上着を置いたら、そこで休憩しちゃう子達がいたりして（笑）それはそれなりに楽しいのですが、走るなら真剣に走ってもらいたい！というわけで、今までの目久尻川沿いのコースでマラソンをしてみました。今まで通り1400メートルのコースです。休まずに走るのは大きい子でもかなり大変です。3歳児もデカと一緒に走りますが、体力



…職員たけのこと寺嶋乃里子画…

が違うので当然大きい子達がピューンと走っていく後姿を見ながら走ることになるのですね。普通に考えたら3歳～5歳児まで年齢差のある子達が一緒に走るってずいぶんなことですが、カッコいい力の姿を見ていろんなことを感じながら走るのも悪くないなあ～と思っています。それに日久尻川コースは、龍藏神社で折り返して対岸を走っているので、後から走っている子達の目に向こう側を走る様子が見えたり、丘公園で応援する小さい子達の声が聞こえたりしますから、それがまた刺激になりました。さてさて、本番ではどうなることでしょうか。楽しみです！



「とにかく子ども達は走っていました。膝小僧をすりむいて、全速力で走っていました。いまは10メートルも走ると、塀や壁にぶつかってしまう。いまの子どもは可哀相ですね。」これは森繁久彌さんの『大遺言書』という

著書の中の一節です。久世光彦さんが聞き書きをしたもので、これに続いて久世さんが「話し合いや、せいぜい議論があっても喧嘩がない。殴られたら殴り返せという親もいない。お金の勘定はできても、途方もない夢を育てることができない。今の子どもは、この国始まって以来の不幸の中で、体だけ大きくなっているのではなかろうか。〈空地〉や〈原っぱ〉がある地方でもこの不幸な状態は同じだという。少なくとも子どもは、戸外を走らなければいけない。体中汗をかき、息を切らして疾走しなければならない。時には血も流せばいい。」と書いています。—2005年園だよりより抜粋—

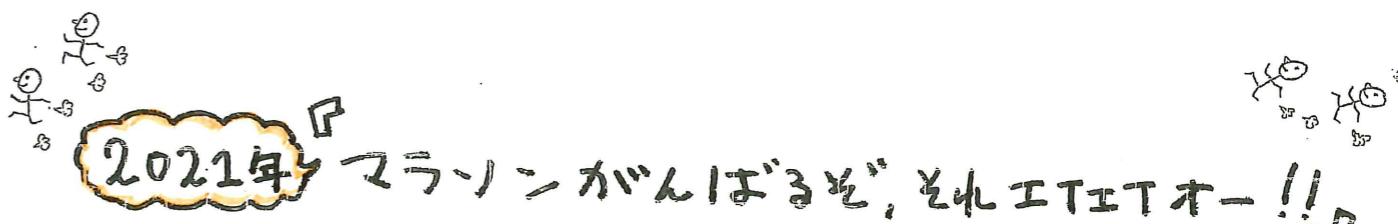


今から40年以上前の水源さん（芹沢公園）は、ただの原っぱでした。麦っ子の子ども達は勿論のこと、小学生や中学生達もシロツメクサやミントなどが生い茂った草にうもれて、花を摘んだり虫を追いかけたり、ザリガニを捕まえたり、明るいちはいつも子どもの声が飛び交っていました。少し茂った木々の中に秘密基地をこしらえたり、子ども達は間違なく夢を追いかけていたと思います。水源さんは残念ながら都市公園に整備されて、以前の様相は一変してしまいました。時代の流れと共に、子どもの数も減ってしまっているように思いますし、何よりも自由奔放に夢中になって遊んでいる姿を、あまり見かけなくなりました。麦っ子の子達はそれこそ毎日「体中汗をかき、息を切らして疾走して」いますが、戸外で遊ばず、テレビやケイタイやゲームに向かったり、塾通い（今はリモート学習でしょうか？）で遊び暇もない過密スケジュールに追われる子ども達…。頭

の良いエリートばかりが尊重される教育現場は、いずれ行き詰るだろうと思いますが、だからこそ、心やさしい麦っ子の子ども達が、いつか底力を発揮して、社会を変えうる原動力になるだろうと確信しています。

「子どもは群れをなしての外遊びが大事です。部屋の中で遊んでいるのは遊びとは言いません」

これは3年前まで麦っ子の園医をして下さった、小児科医・真弓定夫先生の言葉です。麦っ子の10周年記念で講演をお願いしたのがきっかけでしたが、真弓先生なくしての今の麦っ子はありません。牛乳など他の動物の血液を飲まないこと。日本人に合った昔ながらの食事をすること。そして元気に群れをなして外遊びをすること。利他の心が大切。一などなど。保育の原点、食事の原点、生きることの原点を直接教えていただいたことは、何物にも代えがたい大切な宝物です。コロナが世界中に蔓延するかのようなこの時代にあって、昔と変わりなく麦っ子らしく戸外で遊ぶことができる幸せをかみしめています。 (2021.209)



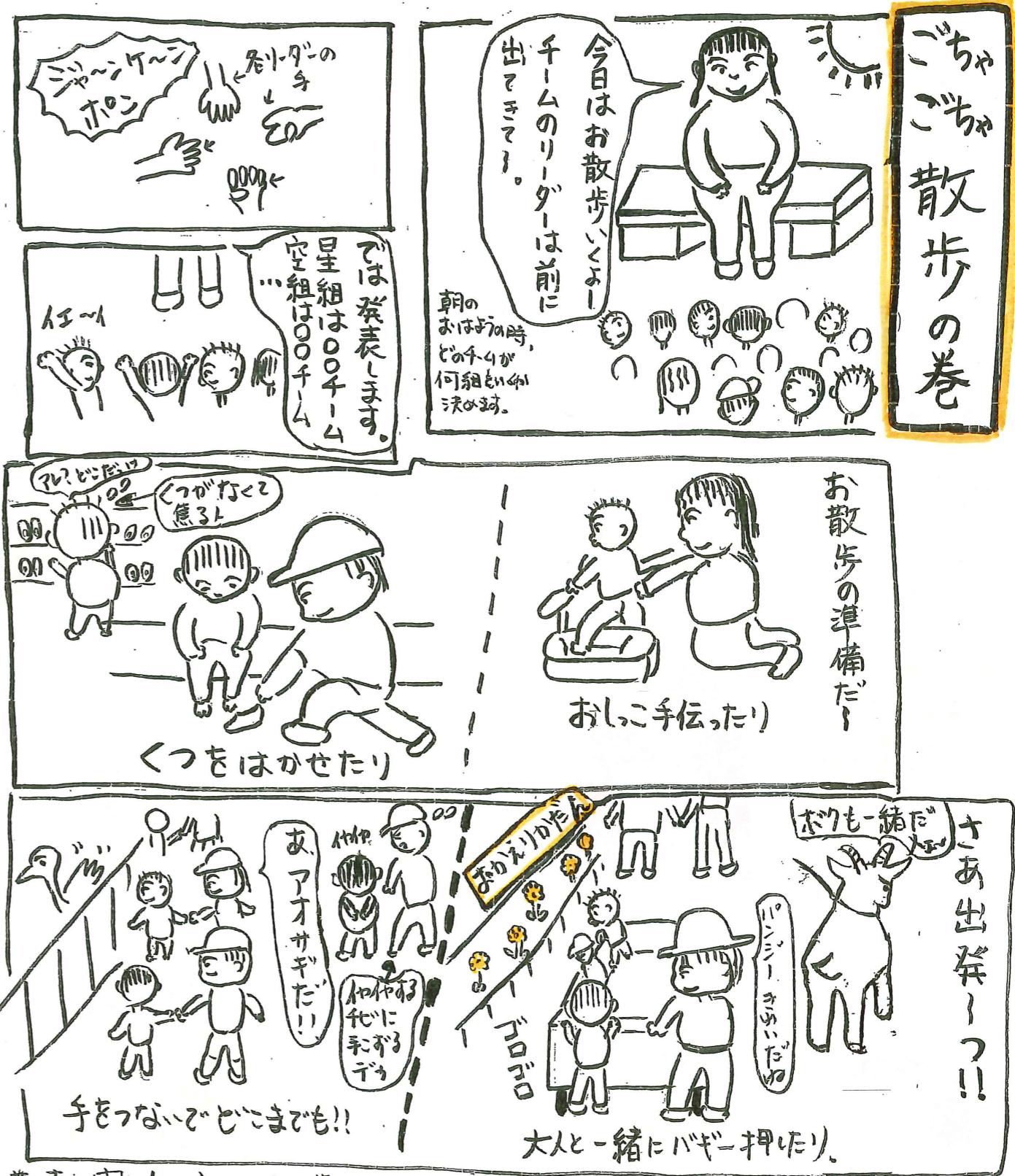
今年もマラソンの季節がやってきました。寒い日に大人も子供も薄着になって、一生懸命走る！ ひたすらぐるぐる走る「ぐるぐるマラソン」ですが、今年はいつも少し違います。いつもは妻さんの庭や駐車場を走りますが、今年は水源さんの2階を走ります。…といっても全国員で一齊に（同時に）行くと、あまりにも「密」なので（今更な気しますが…笑）星～雲にテカの各チームが日替わりでくつたり、あんまり大世帯じゃないチームで水源さんまで行きます。水源さんでも各自はなれて座って準備運動。そして全員でスタート地点に立てスタートです♪ ネガティブなコースなので、みんなドキドキ。コースの目印として、各クラスのレジャーシートと赤ちゃんの立ち乗りバギーを置いてあるんですけど、2回目のぐるぐるマラソンの時、走ってつかれた人たちが、要所要所のレジャーシートで休憩してます！？！？ マラソンはしつこくても走り続けるんだよ！！他にもマラソン中にトイレに行く人が続出したり、113～13起る新規ぐるぐるマラソンです笑 水源さんは妻の以外にも散歩してる人がチラホラ。みんな「がんばれー」とか「えらいねー」と応援してくれます。（散歩の方々の前を通る時だけ、すごく速くなる人も…）中には妻さんのマラソンを知ってくれてる人もいて、「今年は大変ねー」とか「ああやって密にならないように窓を開けてる…」と、密にならない工夫（笑）に気づいてくれる人もいます。最近はついに道に出て、コースを走り始めました！ぐるぐるマラソンでは、本気じゃなかたいう声が、朝のあははうごたくさん聞こえます。正直川真位なんかより、一生懸命走る姿がかっこいいんですけど、「位になる！」と意気込むみんなの顔、すごく頼もしいです！ がんばるぞ、それ、エタエタオー！

カラリン大会あれこれ ~雲ぐみに負けない太陽~

もう10年以上も前のこと。テレビでやる「ぐるぐるマラソン」を経て、いよいよ本番と同じコースを走る「遠くマラソン」。(本番まで2週間くらい走る) 当時妻子ではマラソン大会の後「富士山ミスベリ」にテナ(虹・太陽)が行った。そんな訳で妻子1番のテナ太陽ぐみは「雲ぐみよりおこがたりミスベリに行けないよ」なんて言っていた。(まあ実際はそんなコトないんだけれど、太陽にはやはりがんばってほしいのです) この年の雲ぐみには3名た、ともきとい足に自信のある人たちがいて、マラソンにはとても気持ちがいいといった。そして「遠くマラソン」が始まると実を發揮して太陽を抜かしてしまった。なのに3名た走り、2名た太陽ぐみにも気持ちがはいる。だけど、どんなにがんばっても3名たに抜かされてしまう太陽ぐみたちがいた。みんなは3名たがとてもくやしくて泣くコトもあつた。でも練習したりと遠く走るようになり負けないコトもあつた。だけどいざ本番では雲ぐみ3名たに惜しくも抜かされてしまう。でもくじけるコトなく完走してやりきった顔した。速くたれ。お3名たれ。本番の結果がどうであつたれ。そこに行くまでの過程が大事な訳で、みんなにどつたら、テレビと一緒にやるマラソンから本番までの色々なコト、その瞬間にリアルに感じながら取り組んでたんだな、向む合、2いたんだなと思う。その経験はきっとみんなの体の一部になつていい。何があるか、たまに助けてくれるんだなと思う。どうだ? みんな!

「マラソンで忘れないのは…」

今19歳のあおみのこと。雲ぐみの時の
あおみはコースを走る「遠くマラソン」で常にダントン
ビリで、キツそうだったり、泣いて走っていることも
あって、大人達もいつも気にしながら見守っていた。
(けれど、妻っ子に奥って、千ビ達と朝のオハヨウをする
時に出席をとると、(後から一緒にまたとった)
「イ100アオちゃん」に『しんじ坂かにて1位に
なるぞ!』っていつも日青れやかな笑顔で答える
のだった。しんじはその年の太陽で、ダントン
1位で毎日のように先頭を走った男なので。
あおみのまっすぐな前向きさに大人達はいつも
感心し、スゴイネーって話していた。そのあおみは、
虹にぶつてももちろんまじめに走り、太陽では、
2位とか3位で帰ってくるようになり、毎日みんなの前
で、そのがんばりを称えられるようになつた。
小学生になっても市のマラソン大会で走っていたよ。(父ちゃんも母ちゃんも大会に出るマラソン家族になつた)マラソンの神様はやっぱりいて、雲ぐみの
あおみを見ていたにちがいない。もう今はうちの娘
さきの話。太陽の時の担任はみこべ。その年
太陽の女は1人だったから、みこべは虹の女に
負けではない。太陽の意地を見せよ!って
思ったんだけと思う。さきは糸束習の時も速くなかった
と思うけど、たしか大会前日、熱を出し休んで
しまった。そしたらどうかのクラスが散歩でうちに
来た?みこべからの手紙を持って。それには
『さき、明日は死ぬ気で走りなさい』って書いて
あった。次の日、さきはたぶん熱を下げないや計ら
なかつたのかな?走った。ゴール近くの川沿いで
見ていた私に「お母さん、さき、今死ぬ気で走って
いるよ」とハヤハヤしながら言ってかけ抜けで行った。
…らしく片方の靴ひが脱落して土に転かされた
けど、女で1位だった。(初)、口葉れてたからね、
まだ余力あるじゃん!だけがかった良かったです。みこべの
おかげ。靴を拾って、私もゴールに行きました。



今年の散歩は密に
ならぬ。ようやく、^(デカ)「千」に
分かれで散歩。
日生・空・風・雲・組など
千一と一緒に行くがは
当日の朝、決めるが、
星組さん達は人間あつ
たな。



10月にみんなで「まごみんなでや」たことと言いたい。→



→ ひさしぶりの沖縄DAY. 朝2ヶ月振りで「び」の字を書く



其後人皆以爲子雲之書，故名之曰子雲之賦。

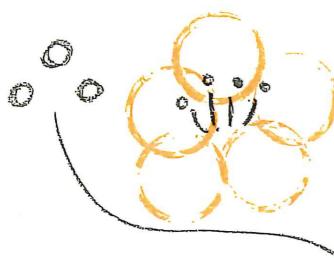
井戸といづくりめちゃくちゃ樂しそうですね
わざかですが、いづくりの足しにして下さい。
のんちゃんのいじこ 山田健さま

あけましておめでとうございます
明るい年がありますように
杉山薫さま

賛助会員のみなさまからの お祝いメッセージ

ビンに小銭をためて
集まりました～♪

中野 豊三郎さま
(OB けいこちゃんのおじいちゃん)



このごろなぜかよくオーバ先生のこと浮かんできたり
こまご通信届いてびっくりしました!
嬉しい伝心だわ。とうれしかったです
また龍くんと遊びにいきたいです。
いつも元気と勇気をありがとうございます
いつも大変、大変だって言っています
変わるのは佳の方に決てるもん!!
今、ときに大きく佳く変わる時、
あ～大変大変 毎日大変～～
龍くんの友人 和恵さま

機関紙ありがとうございます。
麦子のますますの元気、発展を祈ります。
元保護者 鈴木才代子さま

毎日食べる主食がとても重要なんだ。
子供は知識教育より先に
感性教育が大切です。
毎日掃除をする、挨拶をする、履物をそろえる
元氣ちゃんの健康給食 笹本宗壽さま

御無沙汰しています。
こまご通信、毎回楽しみに読ませて
ありがとうございます。
「まりーなちゃんの泉」「おかえりかだん」
見てみた～い!
ハナメイローくんにも会ってみた～!!
みなさんこんな世の中ですが
お元気にお過ぎ下せ!!
元職員 川向 真理子さま

あけましておめでとうございます
明るい年がありますように
杉山薫さま

元氣で明るい日々が暮らせますように

応援にあります

水谷昌平さま 久美子さま 水谷商店



来年会おうねい!!
ウラオバンザイ!!
セニベ中学の同級生 前山さま

いたいた メッセージ

毎日が大変な日々となっていますが
園児さん、先生方が元気で過ごせますように。

人形劇団 桜組 金川タミさま



中村清五郎さま

大浜農園さま

竹部 梢子さま

上映会関係

ハートオブミラクルさま

「いたたきます」応援団さま

とも、としあじいちゃん

井戸屋さま (麦子の井戸を掘っていたい)

ロゴス腹話術研究会さま

かなん鍼灸院さま

平田 真由美さま

馬場 真理子さま

高橋和彦さま

染谷啓介さま (OB)

岡崎利行さま

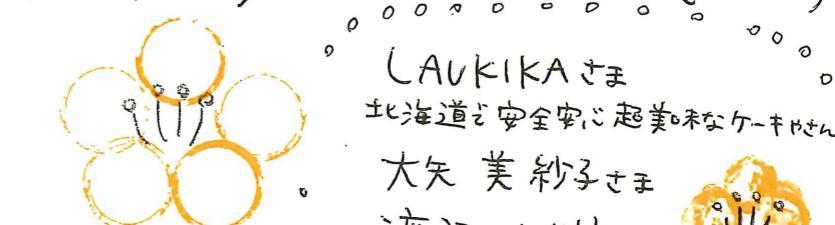
泉田 哲弥さま (OB保護者)

佐々布理恵さま

ミサ子さま (セニベ中学同級生)

野並さま

井戸水カンパ(6,000-)



LAVKIKAさま

北海道で安全安心超美味なケーキさん

大矢 美紗子さま

渡辺 ひかりさま

～マンスリーごの支援

ありがとうございます～



いつも賛助会をご支援くださりありがとうございます。

麦っ子畠保育園賛助会は2000年8月、園児達がよりよい環境で生活できるよう、少ない助成金では何ともしがたい施設や設備を充実させる為に、皆さまからのご支援を仰ぎたく発足しました。おかげさまで2017年7月より認可保育園としてスタートし4年目の春を迎えようとしています。ご支援していただいている皆さんに、心から感謝申し上げます。お振り込みいただいた賛助会費は、園建設にかかった費用の補填として使わせていただいております。引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。

2020年7月～2022年1月迄に集まった賛助会費は

540,629円でした。ありがとうございました。

* 賛助会費は1口1,000円以上から受付けております。

皆さまのご支援・ご協力をお願ひいたします。



編集後記

去年の暮れに亡くなったひめちゃんは、49日が過ぎて星谷寺で眠っています。たまたま我が家のお墓のすぐそばなので、お墓参りに行ってきました。ナムナムしてお話ししても、まだどこかで信じられず「み～こべ～、何してるの？」と、いたずらっぽい笑顔で肩をたたかれそうです。前任のはたぼーの後を引き継いで30年以上も今の麦っ子の食事の基盤を作ってきたし、特に10年前に起きた福島原発事故以降、子ども達を内部被曝から守る為に、安心、安全な素材で給食を作ることに心をくだいていました。そして何よりも自然の恵みが生かされることを大事にしていた人でした。

ひめちゃんが療養中からずっとお台所を支えてきたばっしーやけいちやん、あやっち、たけのこちゃん達、ありがとうございます。ひめちゃんの代わりはできないと思いますが、毎日ひめちゃんの気配を感じながらいろんなことを話し合って頑張っているので、きっとひめちゃんが助けてくれるはず。そしていつかきっと、新しいお台所の姿が麦っ子の顔になっていくことを信じています。(みこべ)

